

◎大正末期の石狩川流域図  
この地図は先人たちの  
労苦と英知の証でもある。

# 1910年、石狩川で 計画的な治水が始まりました。

肥沃な大地を創造し、無数の生命を育み、生活や産業の萌芽を支えた一方、開拓の大地を削り、家屋を濁流に巻き込んでいた石狩川。

原生の流れを始め、川の道として、資源として、広大な原野を可能性の大地にせしめんと、北海道第一期拓殖計画において石狩川治水事務所が設置されたのが1910年(明治43年)。今からちょうど100年前のことでした。

この地図はその時代のもの。原始の姿を残す石狩川と、その流域に集落を築いた先人達の労苦と英知がうかがい知れます。



写真提供/藤原芳信氏

写真提供/赤平市

「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の20万分の1地勢図を複製したものである。(承認番号)平21道復第67号」